

2016年度 法政大学地域研究センター 主催授業

# 社会貢献・課題解決教育

-コンサルティングによる課題解決-

# 企業と話して 企画を提案 する授業

この授業は、学生自らが企業、商店街の

コンサルティング（問題解決）に実際に取り組む **プロジェクト型授業**です。

**問題を発見し、**解決に向けて事業やイベントなどの企画を **一緒に考え提案を行い、**

**実際にアクションを起こします！** 社会で必要とされる、

**問題解決能力、コミュニケーション・チームマネジメント能力、プレゼンテーション能力**が身につきます。



2016年度生 **4月12日 火曜日** 1・2限 START

【対象学部】 文・経営・国際文化・キャリアデザイン学部 2～4年生

【時限】 毎週火曜日 1・2限（年間授業）

【場所】 法政大学 富士見坂校舎1階 遠隔講義室

【担当教員】 法政大学 地域研究センター 特任教授 宮木いっぺい

**注意!!!** ◆通年で4単位の修得が可能な授業です。◆この授業でのフィールドワークは授業時間外にも実施します。

履修予定者は必ず初回に出席してください。授業についての説明を行います。また、シラバスは必ず目を通しておいてください。

どうしても出席できない場合は、必ず下記アドレス宛てにメールにてお問い合わせください。

**4/12（火）は1限・2限ともに同じ内容のガイダンスを行いますので、どちらかに出席すればOKです。**



法政大学地域研究センター  
市ヶ谷キャンパス 富士見坂校舎3階

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL: 03-3264-6641 (平日9:00~17:00)

E-mail: chiiki@hosei.ac.jp URL: <http://www.hosei-hurin.net>

# 企業と話して企画を提案する授業

## 社会貢献・課題解決教育

-コンサルティングによる課題解決-

# 火曜日 1・2限



### グループワーク

この授業は、学部や学年を越えて様々な学生が参加する公開授業です。チームに分かれて各チームが年間を通して1つの企業や商店街を担当します。「異なる分野を専門とする他学部生との交流は楽しく、得られるものが大きい、チームワークの素晴らしさを実感できる」という声が多く聞かれます。



### サポート

教員・大学院生・事務スタッフが丸となり、熱心にして冷静にアドバイスをしてくれます。また、社課教の基本的な考え方、見方を身につけるため年度初めに集中的にレクチャーとワークショップを行います。外部から企業の方をお招きして現場の生の声を聞く機会もあります。また、自習用にエラーニング教材が幅広く用意されています。



### プレゼンテーション

「人前で話すのは得意!!」と自信をもって言える人は多くないです。でも心配いりません。授業内で何度も繰り返し行うプレゼンテーションで、人前で話すことはもちろん、プレゼンテーションに大切な内容のまとめ方、パワーポイントの効果的な使い方などを学ぶことができます。



### 課外

この授業には豊富な正課外プログラムも用意されています。毎年夏休みには合宿を実施し、多数の学生が参加して地域課題の解決に取り組みます。これまで石川県七尾市、栃木県益子町、秋田県仙北市で実施してきました。他にも浅草や浅草橋のイベントのお手伝いや地元企業の社員研修への参加など多様な経験ができます。

## 最終成果報告会



最終成果報告会はボアソナードタワーで行いました。クライアントをはじめ、学内・学外からも来場者を招き、一年間の努力の成果を思う存分発揮する晴れ舞台となります。毎年、最終成果報告会直前はどのチームもゼミ、試験、就活、サークル、バイトなどで忙しい中うまく両立させながら、プレゼン資料づくりや発表の練習に励みます。そして、緊張の面持ちで臨む本番。1年間行動をともにしてきたクライアント、教員からの評価を受けます。そしてクライアントの笑顔に出会った時、どの学生も（そして教員も）安堵感と達成感で笑顔がはじけます。



### 受講生感想文

【文学部3年】  
社課教を受講して本当に良かったと思っています。自分よりかなり目上の人と対等にお話をすることや、相手の魅力を発見することなど、初めてのことだらけでした。どうすれば相手に信頼していただけるのか、どうすれば相手の笑顔を見ることが出来るのかとチームで頭を悩ませ、浅草に何度も足を運んだそのプロセスは、今後の人生でも活かすことのできる基本のことだったのだと思います。私はこの1年間を通して相手を理解すること、そして笑顔を引き出すために頭を悩ませることという自分にとってやりがいとなる軸を見つけられました。

【経営学部2年】  
前期の授業で習った社課教メソッドは、論理的にものごとを組み立てる思考を養ってくれました。そして後期にそれを使っていく中で感じたことは問題を発見するということのむずかしさです。特にプロジェクト型学習の場合は、はじめからテーマが決まっていることが多く、そのなかで自分なりに調べて問題を発見するのは大変でした。しかし、宮木先生の「クライアント様の笑顔のため」を考えるとみえてくるよ、という言葉の通りインタビューを重ねたり現状を調査する中で問題を発見することができることを身をもって体感できてよかったです。

【国際文化学部3年】  
初めは、「社課教」というタイトルに興味を持ち、内容もわからないまま教室に入りました。今まで席に座ってただ話を聞いているというような受け身の授業ではなく、プロジェクト型授業ということで、新しい発見や学びがあるのではないかと思い、履修を決めました。毎週1、2限という時間帯は、正直大変でしたがその分やる気のある学生が多く、とても刺激になりました。1年間共に活動してきた班のみんなにもとても感謝しています。この授業を取らなければ出会うことの出来なかったみんなと出会うことができ、一つの目標に向かって一緒に努力出来たことは本当に貴重な時間となりました。